

平成27年度いじめの調査（アンケート）結果の概要

1 調査の目的

いじめは、決して許されない深刻かつ重大な人権侵害であり、全ての子に、全ての学校で起こり得るものである。調査を通じて、いじめの実態把握を行うことにより、早期発見・早期対応に繋げていくことを目的とする。

2 調査対象

市立小学校（18校、4,633人）、中学校（7校、2,457人）、合計7,090人

3 取組期間

平成27年度 2学期

4 調査結果

(1) 困ったことがあると答えた人数と引き続き指導や支援を要する人数

	小学校		中学校		合計	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月
(1) 困ったことがあると答えた人数	1012	829	186	117	1198	946
(2) (1)の内、引き続き指導や支援を要する人数	1	3	14	7	15	10
解消率 (%)	99.9	99.6	92.5	94.0	98.7	98.9

(2) いじめの態様

① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	522	390	82	73	604	463
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	134	121	15	11	149	132
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	239	217	43	35	282	252
④ ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする。	122	109	26	23	148	132
⑤ お金や物を持ってこいと言われて困る。	32	27	4	6	36	33
⑥ 自分の持ち物やお金を隠されたり、壊されたり、捨てられたりする。	86	53	33	28	119	81
⑦ 恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする。	94	69	10	14	104	83
⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	8	3	16	6	24	9
⑨ 上記以外のいじめ	100	115	16	13	116	128

5 結果について

- ・ 「困ったことがあると答えた人数」については、小学校829人（6月比183人減）、中学校117人（6月比69人減）、計946人（6月比252人減）となっている。
- ・ いじめの態様については、多くが「冷やかしやからかい、悪口」「軽くぶつかられる」という内容であった。小学校では、上記以外がいじめが微増である。
- ・ 「パソコンや携帯電話等による誹謗中傷や嫌なことをされる」は減少したが、ネット利用のマナーについては、学校での指導を徹底する必要がある。また、保護者に対してもそれらによるトラブルの実態をお知らせし、小学校段階からの啓発を継続して行う必要がある。
- ・ 指導や支援を要するケースについては、学校といじめ相談室が連携し解消に向け取り組んでいく。また、すべての教育活動を通じた道徳教育及び体験活動等の充実を図るとともに、本市及び各学校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期解決の取組を推進していく。